

記者発表（資料配布）		本紙及び別紙資料 2 枚	
月／日（曜日）	担当部課名	電話番号	発表者名 （担当者名）
令和元年 12 月 11 日（水） 午前 10 時 00 分	総務課 総務人事室 （佐用町自治会 連合会事務局）	0790-82-2549	

件 名：佐用警察署の存続を求める署名運動について

町自治会連合会では、兵庫県警察が検討している兵庫県警の再編整備において、佐用警察署をたつの警察署に統合し、佐用分庁舎とする案が明らかになったことを受けて、佐用警察署の存続を求める地域住民らの声を兵庫県警察本部へ届けることを目的に、署名運動を実施しました。

については、下記のとおり内容及び結果となりましたので、お知らせいたします。

記

1. 署名要望書

別紙「佐用警察署の存続を求める署名要望」書のとおり

2. 署名運動の概要

令和元年 1 1 月に、町自治会連合会に属する各自治会長が地域住民らに署名要望書を配布し、運動の趣旨を説明し、署名の依頼を行った。

3. 署名運動の結果

1 0, 4 1 2 筆の署名が集まった。（令和元年 1 2 月 1 0 日時点）

4. 署名要望書の提出

- ①提出予定日時 令和元年 1 2 月 1 3 日（金）午後 2 時頃
- ②提出先 兵庫県警察本部長（兵庫県警本部庁舎内にて）
- ③提出者 佐用町自治会連合会会長 筏 康記 （いかり やすり）
他 副会長 3 名

5. 兵庫県警本部への当件に関する問い合わせ先

兵庫県警察本部警務課 管理官兼次席 濱田様 までお問い合わせください。
（TEL 0 7 8 - 3 4 1 - 7 4 4 1（内線 2 6 1 1））

佐用警察署の存続を求める 署名運動にご賛同ください！

佐用町自治会連合会	会長	(南光連合自治会会長)	筏 康 記
〃	副会長	(佐用連合自治会会長)	茅 原 武
〃	副会長	(上月連合自治会会長)	平 井 隆 樹
〃	副会長	(三日月連合自治会会長)	藤 本 正 文

兵庫県警察本部は、来秋、佐用警察署をたつの警察署に統合し、佐用分庁舎に格下げする再編整備計画を発表しました。

統合は「次世代に向けた兵庫県警察の組織の在り方を考える懇話会」の答申（平成29年12月）に基づいて検討され、小規模警察署の脆弱性及び非効率性、サイバー犯罪などの専門的、広域的な対応などにより、佐用警察署が統合の対象とされたものです。

佐用町自治会連合会は、下記のように佐用警察署の統合については、もっと「地元の声」を考慮した議論がなされるべきと考え、存続を求める署名運動を行うものです。佐用町民はもとより佐用町を訪れる方々の安心・安全を確保するため、この署名に皆様のご賛同をお願いいたします。

記

1 兵庫県警察の再編整備の検討にあたって、地元住民への説明や意見調整を求める

佐用警察署のたつの警察署への統合計画は、9月19日の新聞報道で初めて明らかになったもので町民への事前説明や協議はありませんでした。こうした地元を軽視した手法に、憤りと不信感を抱いています。

2 人員削減で機能強化できるのか

統合で組織が大きくなると、広域的に事件・事故に多くの警察官を動員できるとのことですが、町民にとっては、駆けつける距離の延長や署長不在により、初動対応が遅れる懸念や人員削減により日頃の見守りやパトロールが将来的には薄くなる心配は払拭されず、「統合により、警察機能の強化を図る」という県警察本部の説明には疑問がのこります。

3 警察署は町民の安心の拠り所

統合の理由の一つである、佐用警察署の事件・事故の少なさは、各自治会や交通安全・防犯等の各住民団体の努力に加え、現状の規模での佐用警察署の存在が大きく効果をもたらしており、町民の安心の拠り所となっているのは明らかです。

● 署名は強制ではありません。ご賛同いただける場合に、裏面をお願いします。

○署名は、原則、本人の直筆（ボールペン等）をお願いします。

（署名の意思はあるが、身体上の都合等により困難である場合は、代筆も可）

○住所は、できる限り「兵庫県」から番地まで記入ください。（住所が同一の場合には、「〃」、「同上」で省略可。「兵庫県」からの記載が困難な場合は、「佐用町」からでも可）

○署名が10人に満たず、用紙に空欄が残っても構いません。

○ご記入いただいた個人情報を、他の目的に使用することはありません。

ご提出は、地元自治会長へ、11月末日（地元自治会長が別に指定する日があればその日）までをお願いいたします。

佐用警察署の存続を求める署名要望

来秋、佐用警察署をたつの警察署に統合し、佐用分庁舎とする兵庫県警察本部の再編整備計画の素案は、佐用町民の声に耳を傾けることなく作成されたものです。

佐用町は、面積は広大であり、約307平方キロメートルで県下の約3.7%を占めています。西は岡山県と隣接し、中国・山陽・鳥取道などの高速道路、JR姫新線、(株)智頭急行などが通り、東西南北を結ぶ交通の要所となっています。さらに全国的に有名になったひまわり祭り等が開催され、多くの観光客も訪れます。

それに加えて、少子高齢化が急速にすすみ、高齢人口が急増しております。安全で安心して暮らせる社会の実現維持には、今まで以上に見守りやパトロールの重要性が増しており、地域に密着した警察が求められます。そうした現状を踏まえれば佐用警察署の存続は不可欠であります。

警察署の統合により、初動対応の遅れが懸念され、パトロール機能が密度・頻度ともに薄くなり、町民の安心・安全意識が低下することが懸念されます。

そうした町民の声にもかかわらず、住民向け説明会もされず、あくまで来秋の統合を目指すという県警察本部の姿勢は、町民の願いをないがしろにしているといっても過言ではありません。

【要望事項】

佐用警察署については、「来秋の統合ありき」ではなく、「地元の声」「町民の願い」を十分に考慮いただき、佐用警察署として存続されるよう強く求めます。

No.	住 所	氏 名
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		